

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立深谷高等学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般参加者70名程度 ・本校生徒30名(ラグビー部)
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 () <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 (人と人の心を繋げるラグビークリニック ~最高のワンチーム~) ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちとの交流を深める ・ラグビー体験をとおして、オリンピックやラグビーに対するの興味関心を高める
5 取組内容	<p>(1) 開催日時 7月24日(土) 12:30~17:00</p> <p>(2) 会場 深谷榎挽ヶ原ラグビー場</p> <p>(3) 取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体での準備運動 ・チーム分けをし、自己紹介・チーム名を決める ・ラグビー体験ゲーム <ul style="list-style-type: none"> ①ラダー ②サークルステップ ③パスをして高得点を狙う ④マーカージグザグステップ ⑤ミニハードル ⑥ダミーヒット ⑦トライ



準備運動の様子



ラグビー体験①



ラグビー体験⑥

	 <p style="text-align: center;">準備運動の様子</p>  <p style="text-align: center;">ラグビー体験①</p>  <p style="text-align: center;">ラグビー体験⑥</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒は、小さい子どもから、小学生、中学生と、丁寧な声かけをし、段階的な指導を行うことができた。 ・本校生徒は、ラグビー体験を通して、作戦から実行、反省までのプランニングを立てることができた。 ・異なる年代で編成されたチームで、チーム名を参加者で考えたり、作戦を計画するなどして、子どもたちがコミュニケーション能力を高めることができた。 ・子どもから大人まで、ラグビー体験をとおして、オリンピックやラグビーへの興味関心を高めることができた。 ・今回の経験をとおして、地域と本校の交流を深めることができた。
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にグルーピングを行い、そのグループでの役割を決めておき、担当ごとに準備をすすめた。 ・本校生徒は、子ども目線の指導をするため、時には、子どもの横で説明しながら、一緒に競技した。また、演示では大きな動きを見せることで、各年代の参加者たちの興味関心を高めた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が子どもから大人で形成されたチームだったので、能力差があり、出来ることが限られてしまう。 ・本校生徒は、各グループの担当者を、上級生と下級生とで組んで編成した。今後も下級生に引き継いでいくことが重要である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、地域の方からの提案で、この企画に参加した。来年度も、このようなイベントが開催されるのであれば、オリンピック種目にもなっているラグビーという競技を広めていくためにも、是非とも協力していきたい。

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立深谷高等学校 】

1 実践テーマ	① ・ II ・ III ・ IV ・ ⑤ (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	本校生徒604名 2・3年生 体育館 1年生 教室 (オンライン視聴：感染症防止対策のため)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な探究な時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・オリンピックアスリートの講演を通して、スポーツの価値や効果を再認識する
5 取組内容	(1) 開催日時 12月16日(木) 3限 10:55~11:45 (2) 会場 深谷高校・体育館 (3) 講師 石島 雄介 選手 深谷高校 平成13年度卒業(26期生) 東京2020オリンピック ビーチバレー男子 日本代表 北京2008オリンピック バレーボール男子 日本代表 (4) 取組内容 バレーボールの実演と講演 【バレーボールの実演(前半)】 オリンピックの石島選手が打つボールを本校の生徒が受けて、バレーボールを楽しんだ。バレーボールの経験は問わず、各クラスから代表者が参加した。うまくレシーブできるまで繰り返し、成功した後は、石島選手とハイタッチを交わし、交流を深めた。

【講演（後半）】

『汗は人を裏切らない ～終わりなき挑戦～』と題して講演をいただいた。

- (1) 本校バレーボール部に所属していた高校時代の話
 - ・ 中学時代は県大会にも出られなかったが、全国大会優勝を目指して深谷高校に入学
 - ・ 辛かった思い出
 - ・ 松伏からの遠距離通学
自分で決めたことで、辛いとは思わなかった。
- (2) 大学時代の話
 - ・ 筑波大学でのバレーボールの取組
 - ・ 感謝していたこと
- (3) 大切に考えていること
 - ・ 5W1Hを考えて行動する。
 - ・ 東京オリンピックに出るにはどうしたらよいか5W1Hの視点で考えてきた。次は4年後のパリオリンピックに出るにはどうしたらよいか考えていく。
 - ・ 生徒の皆さんも5W1Hをしっかり考えて行動して欲しい。
- (4) 「汗は人を裏切らない」
 - ・ 筑波大学の恩師の言葉
 - ・ 皆同じ時間を共有しているが、汗の質は違う。どう行動して汗をかいていくか、自分自身の挑戦を楽しんで欲しい。

実演の様子



講演の様子



6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール競技の実演では、石島選手が生徒と一緒に体を動かしてくれたので、オリンピック選手の凄さを体感することができた。生徒たちは、緊張した様子を見せながらも、声かけをしてくれる石島選手と、楽しく体験をすることができ、偉大な先輩を身近に感じることができた。 ・講演会で、後輩でもある本校生徒に、「5W1Hを常に考えて生活することが大事だ。」とエールを送ってくれたことで、講演後に、前向きに考える生徒の声を聴くことができた。
7実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・講師が会場に登場する前(実技と講演前の冒頭)に、事前に作成しておいたオリジナルの講師紹介VTRを視聴させ、生徒の関心を高めた。 ・講演前に、授業でバレーボールを取り扱い、ルールなどに触れた。 ・会場に参加できなかった1年生のために、石島選手に各教室を回っていただいた。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということもあり、体育館での参加は2,3年生のみとなった。1年生は、オンラインで視聴となったが、実際は、体育館で参加させたかった。広い会場を確保することなどが、課題である。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、卒業生のアスリートということもあり、本校生徒は親近感を持って参加することができた。 ・本校は、地域密着の学校であるので、今後も、深谷にゆかりのある方に講演をして頂けたらと考えている。